読書の家から

新刊案内

■あぶた読書の家

長い間改修工事のために皆さんに不便な思いをさせたことと思います。改修工事も終わり、11月13日から再開しました。以前と同様に変わらぬ利用をお願いします。

〈一　般〉▽終身教授録（森　信三）▽奇跡（さだまさし／画おぐらひろかず）▽どんな小さいものでもみつめていると宇宙につながっている（まどみちお）▽悪道（森村誠一）▽黄金の夢の歌（津島佑子）▽砂の王国〈上・下〉（萩原浩）▽とかくこの世はダメとムダ（山本夏彦）

■みずうみ読書の家

〈一　般〉▽ハッピーリタイヤメント（浅田次郎）▽永遠の0（百田尚樹）▽天網恢恢（林望）▽江戸の学ぶエコ生活術（アズビー・ブラウン）▽峠うどん物語（重松清）▽アハメドくんのいのちのリレー（鎌田實）▽リトル・ピープルの時代（宇野常寛）▽滋雨の音（宮本輝）▽水底フェスタ（辻村深月）▽蠅の帝国（篠木蓬生）▽刑事の子（宮部みゆき）▽家康の子（植松三十里）▽清貧と復興（出町譲）▽ファントム・ピークス（北林光一）▽船を編む（三浦しをん）▽北海道謎解き散歩（好川之範）▽生の緒　縄文時代（ネリーナウマン）▽日本列島の考古学（堤隆氏）▽列島創世記（松木武彦）▽生と死の考古学（山田康弘）▽歴史のものさし（小杉康ほか）▽大地と森の中で（小杉康ほか）▽▽世界ジオパーク洞爺湖有珠山ガイドブック（北海道新聞）▽使い分けるパソコン（きくたよしみつ）▽スパイスなんでも事典（日本香料研究会）▽死ぬまで寝たきりにならない体をつくる（宮田重樹）▽温泉からの思考（合田純人）

●開館時間
午前10時より午後4時20分まで
●11月休館日
11月
（毎週木曜日・祝祭日休館）
あぶた読書の家☎76-2100
みずうみ読書の家☎75-4702

今月の1冊

「帰ってきた『はやぶさ』小惑星探査機７年60億キロの旅」
（ハート出版）
作　小泉耕介
画　ハイロン

科学的なロマン。人と人とのつながり。互いに認め信じあうという事、人々が共に力を合わせ一つの事に取り組むことで大きな事も成しとげられるという事を、この「はやぶさ」は教えてくれます。ぜひ子ども達も大人の方にもご一読をおすすめしたい本です。

わたしのうた

短歌【あぶた短歌会】十月定例会

神様が出雲にお出まし留守となる　　赤塚瑛子
神無月の空いよいよ邃し　　
庭木々をゆさぶる北の音にさへ　　山木　孝
遠住む歌友を恋してやまず　　
生き過ぎて後期高齢者の證受け　　大西芳子
秋澄む端居でありがたく生く　　
ひと夜だけ泊りて帰れば咲き終へし　　北島加代
月下美人は我を迎へり　　
秋の陽をうけて露店は並び終へ　　太田　智
相馬神社の祭りはじまる　　
バラの木の根元にうめし煮干カス　　元田フジ子
猫はねらひてそばを離れず　　

俳句【あぷた俳句会】十月定例会

ジオパーク出湯の町の紅葉濃し　　菅原敏子
人見しりする子の笑ひ秋うらら　　井村育子
遊歩道行き交うカップル秋うらら　　三瓶　修
一声の鵙の高音や清水汲む　　矢野知子
木漏れ陽や茶会あるらし秋うらら　　那須伶子
三陸の瓦礫見捨て秋うらら　　小笠原　勇